



発 言 通 告 書

令和7年 9月3日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 浅 尾 洋 平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	9 月 3 日	(午前) / 午後 9 時 40 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
第98号議案 令和6年度新城市一般会計決算認定 歳出 2-1-5 人事管理費 職員研修事業 P86 (令和6年度主要施策成果報告書 P7) (1) 成果と今後の課題を伺う。 (2) 重大な不祥事が続いておりその認識と再発防止の研修内容を伺う。 2-1-9 企画費 自治基本条例運用事業 (市長選挙立候補予定者公開政策討論会) P92 (令和6年度主要施策成果報告書 P17) (1) 予算333千円に対して、決算額75,807円と乖離があるがその理由を伺う。 (2) 成果と今後の課題を伺う。 2-1-9 企画費 ふるさと納税推進事業 P92 (令和6年度主要施策成果報告書 P10) (1) 目標値に実績値が届かなかった理由を伺う。 (2) どういう返礼品が好まれる傾向にあるのか伺う。 (3) 成果と今後の課題を伺う。 2-1-12 路線バス運行費 公共バス運行事業 P98 (令和6年度主要施策成果報告書 P31) (1) 本事業の成果とデマンドバスの課題を伺う。 (2) 路線バス運行費のうち、高速バス運行事業の成果と傾向、今後の課題について伺う。				

3-1-3 障害者福祉費 障害者外出支援助成事業 P132

(1) 863, 110円の主な内容と利用者数を伺う。

(2) この支援事業は何年目になるのか、また、これまでに単価の改定はあったのか伺う。

4-1-4 母子保健費 母と子のすくすく健診事業 P170

(令和6年度主要施策成果報告書 P45)

(1) 令和6年度新たに低所得妊婦初回費用の助成事業の開始、妊娠を望む方への不妊治療助成事業の実施についての目的と成果について伺う。

(2) 成果と今後の課題を伺う。

4-1-5 予防費 予防接種事業 P172

(令和6年度主要施策成果報告書 P49)

(1) 子宮頸がんワクチンのキャッチアップの効果について伺う。

(2) 子宮頸がんワクチンの目標と実績と結果について伺う。

(3) 事業全体での成果と今後の課題を伺う。

4-1-7 訪問看護費 訪問看護事業 P174

(令和6年度主要施策成果報告書 P54)

(1) 実績値が前年度と比べて、300件ほど減少している理由を伺う。

(2) 成果と今後の課題を伺う。

7-1-3 観光振興費 市観光協会支援事業 P222

(令和6年度主要施策成果報告書 P81)

(1) 観光協会の事務局長の不在でイベントや業務について支障が出なかったのか伺う。

(2) 事務局長の人件費についてどうなったのか伺う。

(3) 成果と今後の課題を伺う。

10-4-3 文化財保護費 鳳来寺山自然科学博物館運営事業 P282

(令和6年度主要施策成果報告書 P112)

(1) 特別展ではどのような内容に工夫を凝らしたのか、また人気なものは何か伺う。

(2) 参加者アンケートの結果の内容と成果と今後の課題を伺う。

10-5-4 学校給食施設整備費 学校給食施設改築事業 P294

(令和6年度主要施策成果報告書 P99)

(1) 学校給食の受入室工事関係の決算額と予算額の差が4億円ほどあるが、主な理由を伺う。

(2) すべての学校の受入室工事は完成したのか伺う。

(3) 成果と今後の課題を伺う。

10-5-4 学校給食施設整備費 学校給食共同調理場運営事業 P296
(令和6年度主要施策成果報告書 P100)

(1) 決算額と予算額の差が1,700万円ほどあるが、主な理由を伺う。

(2) スタッフの不足などはないのか伺う。

(3) 成果と今後の課題を伺う。

新城市決算審査意見書

令和6年度新城市一般会計・特別会計決算等及び基金運用状況審査意見

5 財政分析 P54

経常収支比率と公債費比率がともに前年度よりも上昇したことについての認識を伺う。

6 総評 P56

(1) 令和6年度一般会計・特別会計決算の審査を終えての概観について触れられており、私も同じ認識を持っており同意するものである。そこで、改めてインフレ率と物価上昇と人口減少・少子高齢化と、新規事業のための「財源が新たに出現する可能性が極めて低い」とのこの内容についての認識を伺う。

(2) 決算審査において特に感じられた留意点を伺う。

令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率審査意見 最終ページ

第4 審査の結果

「連結実質赤字比率と将来負担比率が上昇した。」とあるが、これらの意味するところを詳しく伺う。

第118号議案 令和6年度新城市病院事業会計決算認定

総括

(1) 決算状況について伺う。

(2) 外来・入院収益の増減と人員の状況を伺う。

(3) 令和6年度の課題と今後の病院事業方針について伺う。

決-2(1/2)



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 4 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 滝川健司

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	9 月 4 日 (午前) / 午後 9 時 25 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
第 9 8 号議案 令和 6 年度新城市一般会計決算認定 歳入 1-5-1 市税 入湯税 P 1 2 滞納繰越分 1, 2 5 9, 8 1 0 円の収入見込みは。 1 5-1-6 商工使用料 P 2 2 (1) 予算現額と調定額の差額の内容は。 (2) 収入未済額の内容と収入見込みは。 1 5-1-7 土木使用料 P 2 2 都市計画使用料収入未済額の内容と収入見込みは。 歳出 2-1-5 人事管理費 職員研修事業 P 8 6 内部統制・リスク管理・コンプライアンス等研修の実施状況とその成果は。 2-1-9 企画費 情報政策推進事業 P 9 2 R P A 導入による業務効率化の成果は。 2-1-9 企画費 施設予約システム導入事業 P 9 2 システム導入の効果は。 2-1-9 企画費 政策検討プロジェクト実施事業 P 9 4 3つの政策検討プロジェクトの事業内容の詳細とその効果・継続性は。 2-1-9 企画費 移住定住 O S I 事業 P 9 4 移住定住への効果は。			

2-1-12 路線バス運行費 公共バス運行事業 P 98

公共バス運行事業の内、高速バス「山の湊号」運行による若者流出抑制効果及び経費明細と収支は。

10-5-4 学校給食施設整備費 学校給食共同調理場運営事業

P 296

稼働から1年を経過し、自校調理方式時代の運営事業と、共同調理場方式による運営事業との違いについて、費用面、人材面、水道光熱費、維持管理費等の面から伺う。

新城市決算審査意見書

6 総評 (3) 財務コンプライアンスの徹底について P 57

財務会計上の違法行為や不適切事務等の事案に対し、コンプライアンス研修（特に財務研修に関するもの）や内部統制システムの構築の提言に対する見解を伺う。

第118号議案 令和6年度新城市病院事業会計決算認定

令和6年度新城市病院事業会計決算審査意見 病16

新城市民病院を取り巻く経営環境は、構造的要因に加えて給与費の増加が大きな負担になっており、令和7年度決算においても相当厳しい結果が見込まれるとのこと。そんな中、現在、市民病院は移転新築に向けて動き出しているが、厳しい経営状況での移転新築への取組について伺うとともに、少子高齢化が進む東三河北部医療圏の基幹病院として、持続可能な市民病院としてのあり方について見解を伺う。

決-3(1/2)



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 4 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 山 口 洋 一

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	9 月 4 日	午前 / 午後 9 時 43 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・委員会質疑・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
第 9 8 号議案 令和 6 年度新城市一般会計決算認定 歳入 1-5-1 入湯税 滞納繰越分 P 1 2 (1) 滞納の経過年数は。 (2) 督促状況と時効の中断措置は。 1 5 - 1 - 6 商工使用料 P 2 2 収入未済額について (1) 湯谷温泉源泉使用料の詳細は。 (2) 湯谷温泉源泉使用料 (過年度分) の詳細は。 (3) 板敷使用料の詳細は。 (4) 板敷使用料 (過年度分) の詳細は。 (5) 督促状況と時効の中断措置は。 歳出 2-1-1 一般管理費 市・市長交際費 P 7 4 交際費支出は市政及び市民との調和・協調・交流に対して適切であったと判断しているか。 2-1-1 6 地域自治区費 千郷地域自治区予算事業 P 1 0 4 市単独林道事業の工事請負費について財産区管理会計より拠出できなかったのか。 6-1-5 畜産振興費 肉用子牛高付加価値化事業 P 2 0 6 (主要施策成果報告書 P 6 9)				

和牛受精卵移植による予算額1,000千円に対し、45%の決算額となった要因は。

7-1-3 観光振興費 市観光協会支援事業 P222

(主要施策成果報告書 P81)

(1) 観光協会事務局運営補助を行った決算額、13,605,000円の詳細は。

(2) 主要施策成果報告書記載から補助金増額補正予算が不用額となったとあるが内容は。

8-1-2 高規格道路対策費 豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業

P230

(主要施策成果報告書 P90)

豊橋新城スマートIC(仮称)整備事業により地域にもたらされた成果は。

8-1-2 高規格道路対策費 スマートIC地域振興策検討事業

P230

(主要施策成果報告書 P91)

(1) スマートICを新たな交流・交通の玄関口とし、八名地域や市内全体の賑わいの創出に繋げる検討の実施内容と成果は。

(2) 豊橋新城スマートIC(仮称)周辺地域活性化構想に基づく事業進捗とその成果は。

財産に関する調書 4基金

○財政調整基金 P365

残高の有価証券995千円、現金1,655,022千円の合計1,656,017千円は市長マニフェストと大きな乖離がある、市長の市政執行責任は。

○職員退職手当基金 P368

残高の140,088千円で退職職員対応を賄うことができるのか。

第103号議案 令和6年度新城市千郷財産区特別会計決算認定

歳出 2-1-1 財産管理費 工事請負費 P財8

工事請負費が不用額となった理由は。

決-4(1/1)



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 4 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 鈴木 長 良

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	9 月 4 日	午前 / 午後 / 2 時 00 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
第 9 8 号議案 令和 6 年度新城市一般会計決算認定 歳出 3-2-1 老人福祉費 高齢者の健康寿命延伸事業 P 1 3 8 (令和 6 年度主要施策成果報告書 P 3 7) (1) 事業費減額の詳細は。 (2) 事業実績に対する評価は。 3-3-1 児童福祉総務費 家庭支援事業 P 1 5 0 (令和 6 年度主要施策成果報告書 P 4 3) (1) 事業費減額の詳細は。 (2) 事業の利用促進に対する課題は。 4-1-5 予防費 予防接種事業 P 1 7 2 (令和 6 年度主要施策成果報告書 P 4 9) (1) 带状疱疹ワクチンの任意接種件数の内訳は。 (2) 任意接種助成事業の成果と課題は。				



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 5 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員

カーランド 陽子

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	9 月 5 日	午前 / 午後 8 時 3 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> 討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
第 9 8 号議案 令和 6 年度新城市一般会計決算認定 歳出 2-1-9 企画費 ふるさと納税推進事業 P 9 2 (令和 6 年度主要施策成果報告書 P 1 0) 実績は上がっているが決算額が予算額より下回った理由は。 2-1-9 企画費 移住定住 O S I 事業 P 9 4 (令和 6 年度主要施策成果報告書 P 9) 決算額が予算額を大幅に下回った理由は。 3-1-1 社会福祉総務費 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 給付事業 P 1 2 8 (令和 6 年度主要施策成果報告書 P 3 2) 決算額が予算額を大幅に下回った理由は。 3-1-1 社会福祉総務費 重層的支援体制整備事業 P 1 3 0 (令和 6 年度主要施策成果報告書 P 3 4) (1) R 6 実績値が R 6 目標値を大きく下回った理由は。 (2) 実績値が下回っているのに決算額は予算額と大差がない理由は。 3-2-1 老人福祉費 高齢者の健康寿命延伸事業 P 1 3 8 (令和 6 年度主要施策成果報告書 P 3 7) 実績値は目標値を大きく上回っているのに、決算額が予算額より大幅に下回 る理由は。 4-1-4 母子保健費 すこやか子育て事業 P 1 6 8				

(令和6年度主要施策成果報告書 P44)

決算額が予算額の半分程度となった理由は。

6-1-3 農業振興費 新規就農者確保対策事業 P202

(令和6年度主要施策成果報告書 P68)

決算額が予算額の半分以下となった理由は。

決-6 (1/1)



発言通告書

令和 7年 9月 5日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 竹下 修平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受付	9月5日	☒ 午前 / 午後 8時50分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)				
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
第98号議案 令和6年度新城市一般会計決算認定				
歳出 5-1-1 労働諸費 新規人材採用活動支援事業 P194				
(1) 実績について、詳細を伺う。				
(2) 事業の課題分析について、市の認識を伺う。				
10-1-3 教育指導費 不登校対策事業 P262				
(1) 事業費の内訳について、詳細を伺う。				
(2) 令和6年度の相談実績と、不登校の主な原因を伺う。				



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 5 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 小 野 田 直 美

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	9 月 5 日 (午前) / 午後 9 時 11 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
第 9 8 号議案 令和 6 年度新城市一般会計決算認定 歳出 2-1-5 人事管理費 職員研修事業 P 8 6 事業予算 5, 6 1 6 千円と決算 2, 6 1 0, 2 4 0 円の差額理由は。 3-1-1 社会福祉総務費 重層的支援体制整備事業 P 1 3 0 (主要施策成果報告書 P 3 4) 主な内容で、「成果の実績値が伸びていない理由として、正式な重層に基づく会議は開催されていませんが、関係機関間の横のつながりは元々存在し、個別対応が行われている状況であると考え。」とあるが、その上でどのように改善するのかを検討したのか。 3-2-1 老人福祉費 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 P 1 3 8 事業予算 1, 5 3 9 千円と決算 3 0 4, 0 0 0 円の差額理由は。 3-2-1 老人福祉費 高齢者の健康寿命延伸事業 P 1 3 8 (主要施策成果報告書 P 3 7) 事業予算 8 8 7 千円と決算 2 2 7, 9 6 6 円の差額理由は。 3-3-1 児童福祉総務費 家庭支援事業 P 1 5 0 事業予算 1, 0 8 6 千円と決算 1 2 0, 1 7 8 円の差額理由は。 4-1-4 母子保健費 すこやか子育て事業 P 1 6 8 (主要施策成果報告書 P 4 4) 事業予算 1 3, 3 8 1 千円と決算 6, 4 0 3, 5 4 4 円の差額理由は。			



発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 5 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 山田 辰也

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	9 月 5 日 (午前) / 午後 9 時 42 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
第 9 8 号議案 令和 6 年度新城市一般会計決算認定 新城市決算審査意見書 (1) 1 款市税不能欠損額について令和 5 年度と比べて減った理由をどう認識しているか。 P 5 (2) 1 4 款分担金及び負担金の収入未済額が減額した理由をどう認識しているか。 P 1 0 (3) 1 5 款の使用料及び手数料の不納欠損額及び収入未済額の理由をどう認識しているか。 P 1 1 (4) 2 3 款の市債の減った理由をどう認識しているか。 P 1 5 6 総評 P 5 6 検査・監査を実施するにあたり各担当の姿勢は十分に評価できるものであるとしているが、「木を見て森を見ず」としている。このような評価について、以下伺う。 (1) 主要施策成果指標の設定について、数値化にこだわるあまりにこのような状態になっている様にも見受けられるとあるが認識を伺う。 (2) 執行率の低い補助事業の見直しについて存在意義等の検証がなされていないように見受けられるとあるが、認識を伺う。 (3) 財務コンプライアンスの徹底について、財務規則等に抵触する恐れのある事案が散見されたとある。実質的な損害が発生したものではなかったが、「千丈の堤も蟻の一穴から崩れる」と評価している。また内部統制システムの構築が急がれるとあるが認識を伺う。			